

本間 櫻

本間家四代目
ほんま さくら



Sakura Honma



最北の酒蔵で 古さと新しさを繋ぐ、 本間家四代目。

増毛の歴史的建物群

イメージを壊さずに
補修は繰り返される

留萌線の終着駅、増毛。その駅前通りに、石造りや木造の歴史的建造物が並んでいる。タイムスリップしたような街並みの最後に見えてくるのが、明治15年創業、日本最北の酒蔵『国稀酒造』だ。風情ある佇まいとひんやりとした空気。訪れる人々を魅了する酒蔵は、その長い歴史の中で補修、改修を繰り返してきた。「歴史はお金で買えないもの、費用は投資とすることになっています。建て直す時もあるべくみなさんの期待を裏切らないようにしたいので」と話すのは、国稀酒造株式会社取締役であり、企画室長の本間櫻さんだ。

2000年から04年にかけて、仕込蔵、貯蔵庫、原料処理棟など18棟を4年計画で改修・新築した。その際も「酒蔵のイメージを大切に、昔のものはできるだけだけ残したい」という要望を設計事務所に出している。例えば、百年以上前に建てられた石蔵は傷をつけないよう手で解体、その石を加工し、新築した事務所の外壁に使った。そんなこだわりや